

# 平成25年度事業報告書

本年度は、「第3次アクションプラン」策定後5年が経過し、その間東京港を取り巻く環境が大きく変化し、新たな課題への対応が必要となった。そこで、今後の取組指針を示した「第4次アクションプラン」を策定し、官民一体となって国際競争力のある使いやすい港づくりに取り組むこととなった。

また、東京港、川崎港、横浜港の京浜三港の広域連携に向けた取組みとして、昨年度に引き続き、3港の港湾管理者、振興協会など8団体の共催により「京浜港の集い」が開催され、当協会も主催者の一員として参画した。

客船誘致活動としては、港湾管理者などと連携し東京港史上最大の大型クルーズ客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の円滑な初入港受入れに取り組んだほか、新客船ふ頭及びターミナルの新設等を目指した「東京クルーズビジョン」の策定に参画した。

さらに、東京みなと祭において関連イベントを実施するなど、協会としても2020年オリンピック・パラリンピックの東京招致に資する活動に取り組んだ。

このほか、東京港振興使節団の海外派遣をはじめ、東京港見学会の実施、各種資料の発行、東京みなと館の運営など東京港のPR活動を例年通り展開するとともに、協会の財政基盤の確立のための収益事業を実施した。

## 1. 港湾振興事業

### (1) 東京港振興促進協議会

これまで、平成21年2月に策定された「第3次アクションプラン」の課題実現に向けた取組みを進めてきたが、策定から約5年近くが経過し、その間、貨物量の増加や船舶の大型化など東京港を取り巻く環境は大きく変化している。

そこで、これに的確に対応していくため、平成25年12月に幹事会及び総合検討部会を、平成26年1月に協議会総会をそれぞれ開催し、従来の主要施策であった「物流機能の強化」「安全の確保・危機管理」「環境に配慮したみなとづくり」に加え、「みなとの賑わい創出」の4つを柱とした「第4次アクションプラン」を策定し、東京港の更なる国際競争力のある使いやすい港づくりに取り組むこととなった。

### (2) 船舶貨物誘致活動の推進

東京港振興使節団として海外への使節団を派遣し、ポートセールス活動を展開した。

派遣期間 12月15日から12月21日までの7日間

派遣先 中国（上海）、シンガポール、マレーシア

活動内容 現地の最新の動向や東京港への意見要望などの情報を収集し、物流事業者やクルーズ客船会社などと意見交換を行うなど東京港の利用促進に向けたポートセールス活動を行うとともに、港湾管理者やターミナル事業者などを訪

間し、港湾経営に関する意見交換や港湾施設及び物流施設の視察などを行った。

### (3) 客船誘致活動の推進

#### ① 入出港歓送迎行事等の実施

本年度も国内外のクルーズ客船に対して延べ26回の入出港歓送迎行事を行い、記念品を贈呈するなどの誘致活動を行った。

なお、東京港史上最大の大型客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の初入港にあたっては、着岸場所が晴海客船ふ頭ではなく大井水産物ふ頭になるなど、通常とは大きく異なる対応が必要となることから、港湾管理者などの関係機関と連携し円滑な受け入れに取り組んだ。

また、都民を対象とした低廉な価格設定による「都民クルーズ」に協力し、日本一周や小笠原諸島クルーズなど12回のクルーズを支援するとともに、「全国クルーズ客船誘致連絡会」に参画し、今後の客船の動向など効果的な受け入れのための情報を収集した。

#### ② 「東京クルーズ客船誘致促進ビジョン」策定委員会への参画

港湾管理者をはじめクルーズ客船運航者や代理店、関係行政機関などを構成員として東京都港湾局が設置した「東京港クルーズ客船誘致促進ビジョン」策定委員会の検討を踏まえ、「東京クルーズビジョン」が平成26年1月に策定された。

同ビジョンは、東京港におけるクルーズ客船誘致促進施策を効果的かつ効率的に展開することを目的として、今後東京港が目指すべき姿とその実現に向けた施策の方向性などが示されており、当協会も委員として同ビジョンの策定に参画した。

#### ③ 東京クルーズセミナーの開催

前述の「東京クルーズビジョン」などの東京都のクルーズ客船に対する取り組みを周知し、伊豆・小笠原諸島の観光についての最新情報を提供するとともに、東京港への要望などについてヒアリングを行うため、昨年度に引き続きクルーズ客船運航事業者や旅行会社などの業界関係者を対象にセミナーを開催した。

開催日 1月23日

開催場所 帝国ホテル

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

参加者 約50名

#### ④ 東京クルーズ客船プロジェクトチームへの参画

東京都港湾局、東京港埠頭株式会社及び当協会によるプロジェクトチームに参画し、クルーズ客船の東京港誘致に向けた取り組みについて検討を行った。

### (4) 荷主などとの懇談会の開催

京浜三港広域連携の具体化として、荷主などの利用者に通常目にする機会の少ない港の現場の見学の間を提供し、京浜港を身近に感じていただくとともに、荷主などの意見・要

望を把握し、新たな施策展開に向けた検討に資するため、レストランシップを利用した「京浜港の集い」を開催した。

開催日 10月30日

開催地 川崎港・横浜港内

主催者 東京港、川崎港、横浜港の港湾管理者

東京港埠頭株式会社、横浜港埠頭株式会社

東京都港湾振興協会、川崎港振興協会、横浜港振興協会

参加者 約130名

#### (5) 大型客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」を間近に見る東京港見学会の実施

東京港史上最大の大型客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の初入港にあたって、着岸場所が一般の方の立ち入りができない大井水産物ふ頭であることから、海上バスをチャーターし、停泊中の「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」を海上から間近に見るとともに東京港のPRを行う見学会を実施した。

実施日 4月27日、5月3日（各日2回実施）

参加者数 1,062名（応募倍率8.54倍）

#### (6) 社会科見学船による東京港案内の実施

東京都との共同事業として、船の提供は都が、募集・案内業務は当協会の自主事業として実施した。

都内の小学4年生から6年生及び中学生を対象に、海上バスによる東京港案内を実施し、東京港の役割や都民生活とのかかわりなどを説明した。

70航海、152団体、12,093名の乗船者に対して案内を実施した。

#### (7) 都民を対象とした東京港見学会の実施

広く都民に東京港をPRするため、新東京丸による東京港案内と東京みなと館の見学を行う東京港見学会を実施した。

この見学会は公募により参加者を募集し実施しているが、平均で約20倍程度と多数の応募があり、都民に対する東京港のPR活動として定着している。

12回実施し合計608名の参加を得た。

#### (8) 東京港夜景観賞ツアーの実施

広く都民に東京港の魅力をPRするため、公募により参加者を募集し、普段は見る機会の少ない東京港の夜景を東京みなと館及び海上バスから観賞するツアーを実施した。

実施日 11月22日、29日の2回

参加者総数 380名（応募倍率22.1倍）

### (9) 東京・川崎・横浜3港クルーズの実施

昨年度に引き続き、公募により募集した都民を対象に、東京港、川崎港、横浜港の京浜3港を巡るクルーズを実施した。

貨客船により東京ゲートブリッジや羽田空港新滑走路など、東京港及びその周辺で進められている開発状況を海上から見学し、広く都民に東京港をはじめ京浜三港をPRした。

実施日 9月24日

参加者数 258名（応募倍率21.3倍）

### (10) 東京港及び臨海副都心の観光案内事業の実施

東京港及び臨海副都心を、都民はもとより国内外の多くの人々に親しまれる東京の観光スポットとしてさらに発展させるため、日の出ふ頭海上バス発着所に観光案内掲示板及びパンフレットスタンドなどを設置し、各種博物館などの施設案内や港湾局事業をはじめとする東京都のお知らせやイベントなどの情報提供に努めた。

なお、英語や中国語、韓国語などの外国語のパンフレットを配備するなど外国人に対するPR活動の充実を図った。

## 2. 情報提供等事業

### (1) 会誌「東京港」及び東京港関係資料などの発行・配布・販売

- ① 会誌「東京港」（年4回発行）
- ② 「東京港港湾統計月報」
- ③ 「東京港ハンドブック」（和文・英文）
- ④ 「東京港便覧」

### (2) 新東京丸及びバスによる東京港見学会の実施

会員を対象に、東京港及び東京みなと館などの見学会を実施した。

- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| ① 新東京丸による東京港見学会（12月、3回実施）   | 合計112名参加 |
| ② バスによる東京港見学会（4月及び11月、4回実施） | 合計110名参加 |

### (3) 東京・川崎・横浜3港クルーズの実施

昨年度に引き続き、会員を対象として、貨客船により海上から東京港、川崎港、横浜港の京浜三港の現状などについて見学するクルーズを実施した。（都民を対象としたクルーズと合同実施）

実施日 9月24日

参加者数 257名

#### (4) 東京都港湾局等事業説明会及び講演会

東京都港湾局及び東京港埠頭株式会社の事業概要についての説明会と東京都港湾局技監による東京港の最新のトピックスをテーマとした講演会を開催した。

開催日 4月10日

開催場所 経団連会館

参加者 港湾関係者を中心に219名

<事業説明会>

① 「平成25年度 東京都港湾局事業について」

東京都港湾局総務部企画計理課長 深井 稔 氏

② 「平成25年度 東京港埠頭株式会社事業について」

東京港埠頭株式会社総務部経理課長 安川 一生 氏

<講演会>

「東京港の最近の話題」

東京都港湾局技監 前田 宏 氏

#### (5) 港湾事業講習会及び東京都港湾整備振興大会の開催

港湾に関する講習会及び港湾整備事業の拡大強化を図るための集会を次のとおり実施した。

開催日 8月1日

開催場所 経団連会館

参加者 港湾関係者を中心に241名

<港湾事業講習会>

東京都港湾整備振興大会に先立ち、港湾事業講習会として、世界経済の構造変化と東京港の将来的ビジョンなどについての講演会を開催

「変貌する世界経済と東京港」

海事コンサルタント 舘野 美久 氏

(元一般財団法人国際臨海開発研究センター 調査役)

<東京都港湾整備振興大会>

港湾整備事業の拡大強化を図るため、都議会議員をはじめ、島しょの各町村長、東京都港湾局長ほか関係者の臨席のもと、東京都の港湾・海岸整備の振興に対する要望に関する決議文を採択し、関係機関への要望活動を実施

### 3. 東京みなと祭事業

東京みなと祭協議会事務局として、5月25日・26日の両日に、晴海客船ターミナルを中心に第65回東京みなと祭を開催した。

恒例行事の「東京ポートバザール」や「東京港クルーズ」、「珍しい船の一般公開」な

どをはじめ、防災、災害支援をテーマに東京消防庁及び自衛隊の特殊車両や機材を一般公開する「防災体感フィールド」や東京港内の穴場のビューポイントをバスで巡る「東京港ビューポイントツアー」、東京みなと館所蔵の記録映像や写真などを展示した「出張 東京みなと館」などを実施したほか、協賛行事として、水の消防ページェント、ドラゴンボート大会などが実施された。

また、2020年オリンピック・パラリンピックの東京招致に資するため、晴海会場においてアスリートのトークショーなどを実施するなど、協賛事業を含めた総来場者数は89,000人にのぼった。

5月20日には東京港開港記念行事として、東京港港湾功労者表彰式を芝浦サービスセンターにおいて開催し、港湾功労者15名に対し都知事感謝状と記念品を贈呈した。

表彰式に引き続き、東京港開港記念祝賀会実行委員会事務局として東京港開港記念祝賀会を開催し、263名の出席者があった。

#### 4. 広報関連受託事業

東京都から委託を受けて、次の事業を東京港PR活動として実施した。

##### (1) 初入港船等の歓迎

初入港船、外国客船、国内クルーズ客船、コンテナ船などに、71回の歓迎行事を実施した。

また、外国客船については、英文等のガイドマップを乗客、乗員に配布し、船内または客船ターミナル内にて観光ボランティアを活用したインフォメーションカウンターを開設するなど乗客、乗員に対するサービスの向上に努めた。

##### (2) 新東京丸による東京港案内

国内の港湾関係者のほか、自治会、町会、婦人会などを対象に、視察船「新東京丸」による東京港案内を実施し、東京港の将来計画や各種港湾施設の説明を通じ、東京港の機能や都民生活とのかかわりなどの理解を図った。

238航海、597団体、10,707名に対して案内を実施した。

#### 5. 助成事業

公益財団法人日本財団の助成事業として、小中高生及びPTAなどの団体を参加対象とした海上バスによる東京港見学及び東京みなと館の見学研修会を実施し、港の施設や港湾の果たす役割などを説明し、海事思想の普及に努めた。

30回実施し、75団体、4,976名の参加を得た。

## 6. 東京みなと館事業

展示内容を現況に則したものにするため、昨年度に引き続き各種展示物を改修したほか、集客を図るため、次のとおり特別企画展などを開催した。

① 写真展「クルーズ客船と港のにぎわい」

期間 4月8日～6月8日

東京港史上最大の大型客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」が東京港に初入港するのを機会に、晴海客船ターミナルでの客船歓迎風景など東京港と客船の魅力を紹介する写真展を開催

② 写真展「東京の島々」

期間 6月11日～9月29日

伊豆・小笠原諸島の島々や島民の生活風景など、東京の島々を紹介する写真展を開催

③ 特別展示「錦絵に描かれた江戸の暮らしと文明開化 ～高輪・台場・品川～」

期間 10月8日～3月30日

高輪、台場、品川を題材に、江戸の暮らしと文明開化を表した錦絵を展示

④ 「東京みなと祭」への参加

5月25日・26日の両日に開催された「東京みなと祭」へ「出張 東京みなと館」として出展し、29点の商船模型を展示したほか、東京みなと館所蔵の映像や記録写真を上映・展示

⑤ 「東京湾大感謝祭」への参加

東京湾の再生に向け、官民が連携・協働する組織「東京湾再生官民連携フォーラム」の設立にあわせて、11月23日に開催された「東京湾大感謝祭」へ参加し、東京みなと館所蔵の映像を上映

入館者は都民をはじめ、国内外からの行政視察、港湾関連企業グループ、小中学生の社会科見学など多岐にわたり、28,257名の入館者があった。

## 7. 収益事業

(1) 当協会が設置した駐車場、自動販売機などの営業活動を実施した。

(2) 「東京港ハンドブック」、「東京港便覧」などの東京港関係資料の販売を行った。